

(参考資料5)

2022年1月28日

第1回言語聴覚士 学校養成所カリキュラム等改善検討会

土井 勝美

近畿大学医学部耳鼻咽喉科 主任教授

日本耳鼻咽喉科学会 理事

指定規則で定める教育 内容及びその単位数の見直しに関する意見書

教育に関し、以下の点をご指摘いたします。

- 1) 「地域包括支援、社会保障、教育とリハビリテーション」中の「**地域言語療法学**」という語句の妥当性、内容の明確化 (P5)
- 2) 「**専門分野**」中の「**基礎言語聴覚障害**」という語句は正しいか。(P6)
- 3) 「言語聴覚障害の評価診断・治療学」中で、「**言語聴覚障害**」なのか「**聴覚言語障害**」なのか。内閣府 HP 上では「聴覚・言語障害」(P6)
- 4) 「言語聴覚障害の評価診断・治療学」中の「**評価診断**」という語句は正しいか。(P6)
- 5) 「科学的思考の基礎、人間と生活、社会の理解」中の「国際化及び情報化社会に適應できる能力を培う」が浮いている。(P7)
- 6) 「人体のしくみ、疾病と治療」中で、「臨床神経」、「形成外科」、「栄養」、「薬理」等、「学」が数カ所で抜けている。(P7)
- 7) 「人体のしくみ、疾病と治療」中で、「栄養、薬理、救急救命、予防の基礎的知識を学び」が重複している。(P7)
- 8) 「人体のしくみ、疾病と治療」中で、「聴覚、神経、発生・発語に関する」の「神経」が浮いている。(P7)
- 9) 「心の働き」で、「態度」は妥当か。「対応」では？(P7)
- 10) 「心の働き」で、「**言語聴覚臨床**」という語句は正しいか。(P7)
- 11) 「言語聴覚障害の評価診断・治療学」の教育目標で、「**小児系・成人系の発話障害**」という文言は正しいか。(P8)
- 12) 「言語聴覚障害の評価診断・治療学」の教育目標で、「失語症および高次脳機能障害」、「発達障害」、「音声障害」、「聴覚障害」のあとに、「同じ文章が繰り返し出ている。整理できないか。(P8)
- 13) 「臨床実習」の教育目標で、「修得した知識・技能・態度を統合して臨床に適用し」は、上の文章と重複している。内容も不明瞭。削除しては？(P8)

- 1 4) 「選択必修分野」中の「一般臨床医学及び実習を含む解剖など医学系の分野」の意味が不明瞭。「及び」と「および」が混在している。(P8)
- 1 5) 「基礎医学系」の必須内容で、総論と各論が混在している。整理と記載の順序を見直しては？(P12)
- 1 6) 「臨床医学系」の必須内容で、統一性がない。解剖学的部位別、器官・機能別、診療科別、症状・病態・診断・治療・訓練(リハビリテーション)別に並べ替え、整理が必要では？「耳鼻咽喉科」に関連する内容も、バラバラでいろいろな場所に混在している。(P12)
- 1 7) 「音声・言語・聴覚医学領域」中で、「聴器の検査」、「中枢神経系の検査」、「末梢神経系の検査」が抜けている。(P12)
- 1 8) 「音声・言語・聴覚医学領域」中の「医療画像診断」は、「**医用画像診断**」が正しいのでは？(P12)
- 1 9) 「言語聴覚療法基礎系」の必須内容で、「臨床の基礎」が浮いている。(P13)
- 2 0) 「失語・高次脳機能障害系」中で、「訓練」と「リハビリテーション」が混在している。どちらかに統一する。(P13)
- 2 1) 「聴覚障害系」の必須内容で、「就学支援」が重複している。(P14)
- 2 2) 「聴覚障害系」の必須内容に「重複障害」を追加する。(P14)
- 2 3) 「OAE(耳音響放射)検査装置」を追加する。聴性誘発反応検査装置に、「ABR」、「ASSR」を追加する。(P15)